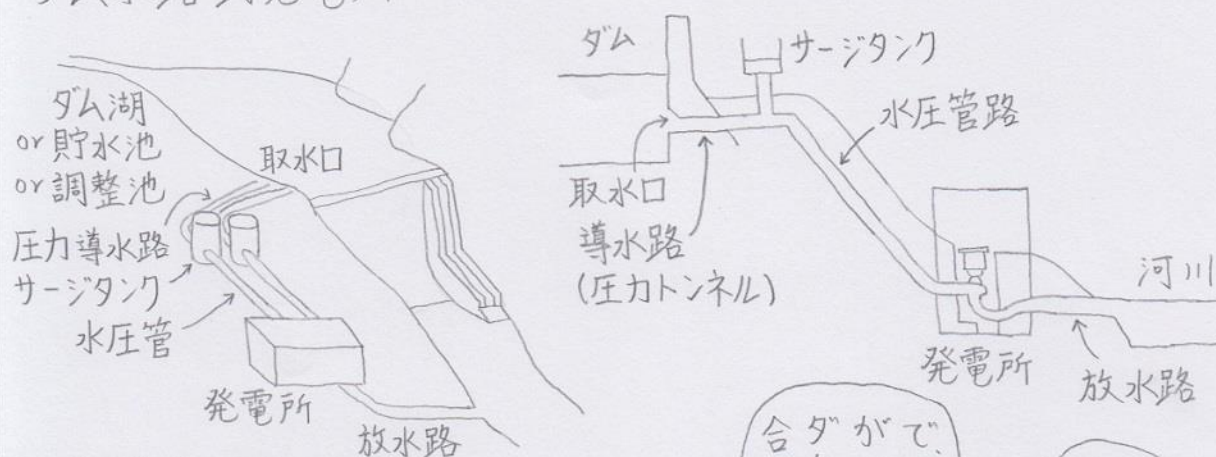


98. ダム水路式発電所と運用による水力発電所の分類

・ダム水路式発電所



- ① 水路式とダム式を組み合わせた構造
→ 水路とダムの両方から落差を得る
→ 高落差・大容量の発電所
- ② 建設費が巨額

で、3つ目
が水路式と
ダム式の
合わせ技



水力発電所(運用による分類)

ー 流込み式発電所

- ・河川流量の調整池を持たない
- ・最大使用流量以上の流量は発電に使用できない

ー 調整池式発電所

- ・比較的短期間(1日~1週間)の負荷変動に対応
- ・休日や夜間に水を溜め、平日昼間に放流(発電)する

ー 貯水池式発電所

- ・長期間の負荷変動に対応
- ・豊水期や軽負荷時に貯水し、渇水期などに放流(発電)する

ー 揚水発電所

- ・夜間や休日などの軽負荷時に、下部貯水池から上部貯水池に揚水する
- ・ピーク負荷時などに発電

落差による分類の
他に、運用による
分類も

